

お題「誤解」森里えいじ選

半世紀誤解がいつか愛となる  
 反発を招き誤解と言いのがれ  
 親友になつたいきさつ誤解から  
 誤解だ錯覚だとはや半世紀  
 思い違いもい方向に着地する  
 付度がこうじて誤解生み出した  
 ハッピーな勘違いならそのまま  
 それは誤解もはや妻には通じない  
 言葉尻あいまいにして生む誤解  
 誤解から始まる縁が実を結ぶ  
 誤解され説明できず口づぐむ  
 回り道して徘徊と思われる  
 誤解から友情めげえ今宝  
 人生は誤解重ねて波静か  
 秀 誤解されちよつと嬉しい時もある  
 軸 誤解して過ぎた十年取り戻す

哲子  
 郁子  
 登美  
 千楽  
 きよな  
 登美  
 広子  
 アキラ  
 郁子  
 ミチ  
 ミチ  
 ちさと  
 きよな  
 ミノル  
 英二  
 えいじ

豪雨のち晴れの予報にハイタッチ

雨の日は積読本にくびつたけ

草木から元気をもらう雨上がり

外は雨ゆくあても無く部屋掃除

雨がちが話題にさせる天気痛

六月の雨は紫陽花色に降る

あじさいが踊っているよきつい雨

夕立後涼しさ超えた寒さ来る

背が倍に一雨ごとのドクダミ草

屋根にトン始まる音のフェスティバル

この雨は小糠雨ちやう知らんけど

核の傘に死の灰が降る黒い雨

顔洗う猫見て傘を忍ばせる

ガラス窓打つ号泣の雨あらし

秀 降水帯どこへ行こうかほくそ笑む

軸 宇宙なら止むか砲弾雨あられ

千楽  
 充

お題「ひらひら」(共選) 八木哲子選

まず値段財布片手に品選び  
 推敲の助詞一文字を決めかねる  
 迷ったら絶対右と決めている  
 閉会の間にやつと言葉かけ  
 迷いから醒めて再起の道歩む  
 迷ったら元に戻ってやり直す  
 大輪かナデシコ取るか若かった  
 迷ったら帰っておいで親の声  
 この枝を切るか思案の二年間  
 迷う道予定通りにあわててる  
 試着室入ってすでに半時間  
 老人の集いに行くか行くまいか  
 迷うたび母のひと言胸に沁み  
 けもの道足跡辿り無事帰る  
 秀 迷う時背中を押してくれる人  
 軸 お買い物案内板とにらめっこ

基弘  
 アキラ  
 哲子  
 健一  
 よう子  
 ひよこ  
 千楽  
 きよな  
 充  
 ミノル  
 広子  
 よう子  
 千楽  
 幸男  
 郁子  
 ミチ

招待状見せびらかせて悦に入る

涼しげに尾がひらひらと金魚鉢

平社員高いプライド持っていた

外れ馬券桜吹雪のように舞う

つぎつぎと敗戦のビラ落ちてきた

庭に来る揚げ羽父かと思ふ

七光りその父やはり七光り

舞扇の舞台あでやかひらひらり

性に合う花を求めて蝶が舞う

おしやれ着にいたずら風が裾捲る

何のメモだろう掃除機だまらせる

フリル付け迷惑そうな犬の顔

百八つ落ちて夜明けの沙羅双樹

夏が来る知覧に蝶がやってくる

秀 ひらひらが今でも好きと百寿前

軸 いつからか童心はがれ大人へと

哲子  
 幸男  
 正清  
 広子  
 英二  
 よう子  
 登美  
 よう子  
 きよな  
 登美  
 英二  
 乃り子  
 英二  
 登美  
 えいじ  
 郁子  
 千楽  
 きよな  
 よう子  
 登美  
 よう子  
 幸男  
 正清  
 広子  
 英二  
 よう子  
 登美  
 充

お題「ひらひら」(共選) 播本英二選

招待状見せびらかせて悦に入る  
 青い目の振袖の手に鹿煎餅  
 おしやれ着にいたずら風が裾捲る  
 川べりの枯れた花にも蝶が舞う  
 凶書室で本がひらひら除菌され  
 舞扇の舞台あでやかひらひらり  
 涼しげに尾がひらひらと金魚鉢

ちさと  
 きよな  
 基弘  
 ミノル

えいじ

健一

登美

ひよこ

ひよこ

きよな

登美

ダメトラが快進撃で紙吹雪  
漂えば光を波がもてあそぶ  
百八つ落ちて夜明けの沙羅双樹  
性に合う花を求めて蝶が舞う  
ひらひらが今でも好きと百寿前  
庭に来る揚げ羽父かとふと思う  
ページ繰る難儀を笑う扇風機  
秀 新緑の庭のランチにアゲハ蝶  
軸 フリル付け迷惑そうな犬の顔

基弘  
正清  
広子  
よう子  
幸男  
郁子  
アキラ  
健一  
英二

手作りの風鈴今日も風を待つ  
きよな  
鶯の澄んだ歌声心地好い  
スリム派がなぜか旅立ち早すぎる  
千楽  
パソコンやつと覚えたら世はAI  
高齡であるが老齡否定する  
乃り子  
預貯金の額で安心買う老後  
見も知らぬ人の笑顔にもらう幸  
広子  
夏椿ひとつ咲いたら衣更え

自由吟 自選

顔認証暗い処で役立たず

えいじ

勉強会 お題 「愚痴」

夕立に活を入れられ動き出す  
スタバには少しおしやれをして出かけ 英二  
フイレオフィッシュ食べて気分はビルゲイツ  
黄砂降る車洗った次の朝 健一  
雨上がり夫婦で探すカタツムリ  
見えにくい聞こえにくくて言いにくい よう子  
年金の色に染まってる暮らし  
思いきり猛毒を吐き夕日落つ 正清  
野仏が涙しているおどし雨  
アキラ  
梅花藻が水の流れたたじろがぬ  
お蔭様覚えた孫がたくましい  
カンヌへの人の有りよう問う映画 郁子  
ナンバーを振られることにアレルギー  
結局はオトコはオトコメスはメス  
ちさと  
いい酒も悪い酒でもよっぱらい  
義雄  
廃校が国の先行き暗示する  
大谷と藤井に日本託すしか  
哲子  
雨音に雨に唄えばタップ踏む  
腹はさておき和平の道へGセブン  
印集帖どうでもいいの神仏は  
充  
ゆりの木に花は咲かない鹿ノ台  
同じ金善と悪との顔を持つ  
おまかせのはずが注文多すぎる  
登美  
誤解こそ友情保つ極意かな  
少年に雨は遊びのニューバージョン  
ミノル  
マスク取れ手足伸ばせる銭湯へ  
味よりも映えを気にする料理長  
メダカ飼う親子に会話弾みだす  
基弘  
本当にここは日本かアメリカか  
ミチ  
願ひ込めハザードマップ配ります  
ひよこ

父のこと誉めているんだ母の愚痴 基弘  
愚痴言わぬ人であったと僥ばれる 郁子  
愚痴話なんともならぬ事ばかり ひよこ  
長電話最後は愚痴で締めくくる ミチ  
久々のゴルフはいつも雨の中 健一  
友と愚痴時を忘れて盛り上がる ひよこ

推薦十句 田中 薫選 句会結果掲載順

誤解されちよつと嬉しい時もある 英二  
推敲の助詞一文字を決めかねる アキラ  
老人の集いに行くか行くまいか よう子  
風景も変える舞妓の傘一ツ 基弘  
何のメモだろう掃除機だまらせる よう子  
夏が来る知覧に蝶がやってくる 正清  
廃校が国の先行き暗示する 義雄  
久々の運転の子に口はさむ ひよこ  
手作りの風鈴今日も風を待つ きよな  
父のこと誉めているんだ母の愚痴 基弘

奈良番傘川柳会 会長田中 薫

七月句会 七月十七日 西集会所

九時五十分会場準備 十時投句締め

「元氣」コピーで互選 「波」(連記) 郁子

「描く」アキラ 「まるで」(共選) 健一 よう子

自由吟(自選・記名・連記) 各二句

\*「元氣」のみ前日迄にアキラ迄事前投句、  
コピーして互選します

新入会員大歓迎 新入会員向け勉強会実施中

入会金不要 月会費百円

お問合わせ \*お電話ください 資料持参します

原 広子 79・0061

野々村アキラ090・6961・1292